

「藤原の人・自然・文化が好きになり、誇りに思う子どもを育てる」

ほつま

藤原小・中学校『秀真委員会』

藤原小学校は、2017(H29)年度に、5つの小学校が統合し、藤原中学校に併設されて、スタート。9年間の途切れのない指導・授業を目指して『施設一体型小中一貫校』として新しく開校。秀真委員会4年目を迎える。



1. 導入経緯

- 2017(H29) 藤原小・中学校コミュニティ・スクールを考える会
- 2018(H30) 藤原小・中学校コミュニティ・スクール準備会
* 2年間、子どもたちの現状や校区の状況を把握。めざす子ども像を検討。
- 2019(R 1) 藤原小・中学校コミュニティ・スクール委員会
* 藤原小・中学校学校運営協議会を立ち上げ、組織化と役員選任、活動内容の調整。
- 2021(R 3) 秀真委員会に改称

CS導入のねらい
学校と地域が連携・協働し
当事者意識をもって子ども
たちの成長を支えます。

2. 秀真委員会は「学校の応援団」

- 【めざす子ども像】藤原の人・自然・文化が好きになり、誇りに思う子ども
- 【役割】 学校活動支援及び地域と学校との連携・協働活動を推進する。
- 【推進課題】
- ①学校・家庭・地域の役割について論議(あいさつを切り口に)
 - ②地域人材の整備・地域の「人」「自然」「文化」の活用推進
 - ③教職員・保護者・地域住民への制度・活動内容の周知の工夫(自分事に)
- 【学校・地域が同じ方向性(目標)で活動を行う際の留意点】
- ①子どもたちに、成功体験を
 - ②そのために、情報共有を
 - ③みんながやりがいを持ち、自分事に

3. 支え合い学び合う「地域学校協働活動」

これからの学校は、子どもたちや教職員だけのものではなく、保護者や地域、子どもにかかわるすべての人を含めたみんなの学校であり、**子どもと大人がともに支え合い学び合う学校**でなければならない。

学校・家庭・地域みんなで、
子どもの教育(将来)を考え、新しい時代の学校・地域の創生へとつなげていく。

地域の力を学校へ

そこで学ぶ子どもたちの豊かな成長につながる。
地域への愛着が培われ、居場所があるという安心感から創造性や共感力等、「非認知能力」を高め「人づくり」ができる。

子どもたちの力を地域へ

子どもたちに関わる大人の生きがいづくりにもつながる。
児童生徒の教育を通して、地域住民相互の信頼関係をより強固にし、「学校づくり=地域づくり」の機運を醸成する。



学校運営協議会は
・情報共有・熟議
・協働・評価を行います。



学援隊・地域支援者は、子どもたちをともに育む大切なパートナーです。

地域学校協働活動

地域と学校がパートナー
 ○子どもたちの成長を支える
 ○地域を元気にする

目的を持った活動により子どもの学びや体験が充実

地域住民の誰もが子どもを育む当事者

地域住民の理解と協力で未来を担う人材育成



環境整備支援

地域の理解と協力で学校の環境整備がすすんでいます。



安心安全支援

地域の中で育てられているという安心感が健やかな成長につながります。



みなさんの理解と協力で
 子ども 地域を元気に！



学習支援

子どもたちの学びや体験活動が充実し、思いやりの心が育ちます。



広報支援

子どもたちの笑顔あふれる姿や、ボランティアのみなさんに支えていただく活動をタイムリーに発信。



4. 令和3年度学校支援ボランティア登録人数

環境整備		学習		安心安全(登下校)	
草刈り・草取り	22	家庭科	8	保護者・祖父母	25
図書室	5	マラソン監視	7	地域	25
		読み聞かせ	5		
		低学年遊び	12		
		低学年学習見守り	13		



5. 秀真委員会役員構成

地域代表5名、自治会長代表、小中 PTA 代表
 有識者、小中校長、市教委

〒511-0511 いなべ市藤原町市場 491
 藤原小学校 Tel. 46-3600
 藤原中学校 Tel. 46-2025
 藤原小・中学校CS推進事務局
 Tel. 070-2638-7291